

新聞記者さんの思い

今日は新聞記者さんに来てもらって、神戸新聞がどう作られるのかというところから新聞記者さんが、どうして新聞記者になっただのかというところまで聞きました。

6 ぼくは新聞記者さんがこんな思いをして書いていたんだという気持ちや、こんなことにも気を配ってくれたんだなと思

2 いました。

こんな思いで書いていたんだなと思いました。

## 新聞のすごさ

みよしさんの話を聞いて、いろいろおしえてもらった中で一番心に残っていることは、新聞を一日分つくるだけでも、とても時間がかかっていることです。ぼくは、かいて作るだけかと思っっていました。たか、デスク会議や、編集、広告まであるとはびっくりしました。今回で新聞を作るときの工夫や、大変さ、写真のとり方についてよく知れてよかったです。

今日の三好記者の新聞に関する説明を  
聞いて、今まで何気に扱っていた新聞が  
何十人、もしかすると何百人もの人の力  
によつてきかく・製作された物であり、  
その力を毎日のように多くの人々に注い  
でいるのは、本当に奇せきのようなこと  
だと思ひました。その力によつて救われ  
る命や心が一つでも多くなつていきます  
ように。

新聞がでるまでのたくさんの人々

ぼくは三好さんの話をきいて新聞を  
うくつてりる人のすごさを知りました。

理由は、自分たちでも新聞を書いてい  
てその時はしんどいなと思っ  
ていたけど  
新聞記者などの人たちは色々な人がかか  
わつていてすごいなと思いました。ぼく  
は新聞をつくるのに関わる仕事をするん  
だ、たら取材をする仕事をしたいなと思  
いました。

## 新聞記者の方のお話

私は、新聞記者の方のお話をきいて、新聞が出来るまでには、たくさんの人がたずさわっていることが分かりました。写真を撮る時のポイントや、インタビューの仕方も分かりやすく教えてくださったので、次新聞を書く時にいかすことができたらしいなと思いました。三好さんありがとうございました。

新聞のたいへんさと新聞ができろまで

神戸新聞などを作るには、時間がかかると今日の話しを聞いてよくわかりました。神戸新聞ができろまで印刷して発送して販売店などをして神戸新聞いっしょうけんめい作っている。どうかなどを見てきかいなどをつかっていたけどしっかりと人もしっかりした新聞ができろていると思ひました。新聞は、たいへんだけど人々にいろいろなニュースをおしえていてすばいと思ひました。

おそわ。たこと

今日、三好さんが来てインタビューの  
しかたや、記事の書き方をおそわりまし  
た。そして、おそわ。た記事の書き方で  
三好さんがまた来たときに、「わあ。  
すじい!!」と言ってもらえるようにした  
いです。

コッをつかめ!

私は、今日、三好さんに教わって新聞の大切さや、重要さ、コッなどを知らることができました。一枚でみんなの思いが知りたいと思う気持ちがまっけていることを知りました。私達も思いがこもった新聞をつくりたいと思いました。

### 三好記者の言葉

僕はこの授業で学習したことは、インタビューの質問のしかたや、写真の撮り方など色々教わりました。新聞を作るのにすごく時間がかかる人だなと思いました。会議や編集、印刷などの構成で、できているのをはじめて知りました。記者の人のいそがしさがなんとなく分かった気がします。

## 新聞記者のすごいところ

神戸新聞者の人は、おもしろく分かりやすくつたえてくれました。いんしょうにのこったのは写真のとりかたです。少しだけ角度を変えるだけでとてもその人の表じょうがわかりやすくなるのがとてもすごいと思いました。インタビューをするときにも相手のきんちょうをほぐしてその人の真の姿をとるのは難しいと思います。

2 b

## 三好さん、新聞最高

- 今日は、三好さんの分かりやすい説明で新聞に興味を持ちました。これから新聞を書く時、5W1Hやレイアウト、インタビューなどを取り入れて書きたいと思います。三好さんがいなければ新聞なんか全然どうでもいい存在だったけど、今日でワクワク感を知りました。

## 学んだこと

私は今日の授業で新聞記者って大変だなあと思いました。写真をとるときのコツもこれから普通に写真をとって思い出さぬのこすときに使えそうだなと思いましたが。新聞をつくるにはたくさんの人の協力が必要でたくさんの時間がかかっていることが分かったのだからも残ってほしいと思います。

みよしさんの話しを聞いて

話しを聞いて新聞記者はとても大変だ

と、いうことに気づきました。その中でも

写真のとりかたや、カメラが新聞を作

るときに使えるそうだなと思いました。

とても難しそうにけど、新聞を使うきか

があると思いたいに使いたいです。将来

の夢のこうほに、新聞記者が入りました。

とても楽しかったです。またみよしさ

んの話しを聞きたいと思いました。

新聞記者のみよしさんの話をきいて  
みよしさんの話を聞いて、ぼくは、新  
聞や、文章を書くとき「5W1H」を意  
識して書こうと思いました。

6 いろいろな所に行ったりできると、ひが  
い者の人たちのインタビューなど、しん  
どい話も聞かなければいけなくて、本当  
2 に大変だと感じました。

インタビューの写真

今日、みよしささんのお話をきいて、新聞をかくとき、大切な部分の字を大きくしたり、写真のとり方にも技術があることを知ることかできよした。たとえば、取材をするとき、カメラ目線をとるんじや

なくこ、ななめからとったり、笑顔など

きなど人からかっただわるようなど。たり、

は、いけいにも、このくかどんな人なのか

たとえは、サッカー選手は、サッカーボールを踢いてインタビューをうける。写真は、この選手が、インタビューをうける。

三好さんのお話は面白い

ぼくは、新聞のことは、興味なくて、全然知らなかったけど、三好さんの話をきいて、そんな感じだったんだとか、面白いなとか感じました。三好さんの話は興味がでてくるほど面白くて、時間がすぐたつていったし、太平洋戦争のお話も面白かったです。

1 今日の話の三好さんの話を聞いて、私も新聞を書くときに、写真のとり方を見直そうと思いました。例えば下からとると、落ちついた写真になり、上からとると、うたえかけのようになります。また災害がおきたとき、今生きている人の気持ち・亡くなつた人の生きた証をのせることをよく考えて書きたいです。記者はおもしろそうだと思つていたら、たけれど意外と大変なお仕事でした。

2 6

今日の三好さんのお話を聞いて、朝の

新聞は、「取材」↓「デスク会議」↓

「編集」↓「制作」↓「刷版」↓「印刷

」↓「発送」↓「販売点」の順番があるか

ら、毎朝あたり前のように届いていると

いうことを知りました。それと写真をと

6 る時に、例えば人物は、どの位置におく

2 かや、このようにとればきれいにとれる

と、いうことを知りました。記者という仕事は、とても大変なお仕事でした。

新聞記者のすごいところ

新聞の事を聞いて、こんな風にインタビ  
ューなどをしないといけないうし、インタ  
ビューも失礼なことを言ったりしてしま  
わないようにしないといけなうので色々  
と大変だなと思いました。でも新聞記者  
の人々は本当にかっこいい仕事だなと思  
いました。でも難かしい仕事だとも思  
いました。

「新聞社ってすごいな」

今日、三好さんの話を聞いて思ったことは、新聞を作るのにはとても時間がかかっていることを知りました。でも朝には新聞が届いているのはすごいと思いました。新聞記者というのは、つらいことばかりたくさんあるけど、会いたかった人に会えたり楽しいこともあると知りました。新聞を作るのは大変なことだと改めて実感して、新聞会社の人はずいぶなと思えました。

記者のすごいところ。

今日は、三好さんとお話をきいて、新聞を書いたり作ったりするのは簡単だと思っ  
ていたけど、とても細くてきいてい  
るだけで難しくておどろきました。あと、  
写真のとり方もくふうしていらすごいな  
と思いました。このきかいで、新聞を作  
るのにすごく時間がかかるということに  
本当にすごいなと思いました。